

研修科目	在日日系人コミュニティの活動支援
分野	教育（幼児教育、日本伝統文化・スポーツ、継承教育等）
コース No.	NL7
研修種別	長期（91 日以上、9 か月以内）
上期・下期	上期
来日日	5/12
帰国日	2/11
提案団体	特定非営利活動法人多言語センターFACIL
提案 URL	https://www.hlc-jp.com/ , https://tcc117.jp/facil/
現職・資格・知識	基本的なパソコンスキル（Word、Excel 操作）、SNS 管理、さらに Web ページの管理ができると望ましい
経験年数	実務経験 1 年以上
日本語能力	不問
ポルトガル語・スペイン語能力	スペイン語（母語）
① 目標	研修員が在日日系人の現状を理解し、自らが外国人として生活することで見える「防災」「情報共有」「教育」などの具体的な課題に気づき、その解決に向けて企画および行動する能力を育む。
② 成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修員は、日本におけるコミュニティ防災の手法を学ぶ 2. 研修員は、ラジオ、冊子、SNS による情報発信に関する技術を習得する 3. 研修員は、在日日系人など外国にルーツを持つ子どもの教育（継承語、継承文化教育含む）に関する知見を習得し、自国の多民族教育に活かす 4. 研修員は上記過程において、在日日系人の現状について理解することに加え、自ら課題を見出し、課題解決に向けたネットワークを構築する等の活動能力を身に着ける。
③ 計画（内容）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 <ol style="list-style-type: none"> ① 在日日系人コミュニティの防災活動 ② ラジオ、冊子、SNS による情報発信 ③ 在日日系人の子どもの継承語、継承文化教育、学習支援、進路指導等の教育サポート ④ 在日日系人の生活相談（行政手続き、子育て、医療、仕事など） ⑤ 情報の多言語化、コミュニティ翻訳通訳、医療通訳 ⑥ 市民団体運営管理全般 2. 実習・調査 <p>①②③④⑤⑥のすべてにつき、講義後に実習を予定。特に定期的な実習としては、防災教育ならびに訓練、インターネットラジオ番組 Latin-a の制作（毎週）、情報冊子 Latin-a の作成（月刊）、Facebook ページの運営（毎日）、外国にルーツを持つ子どもの教育（母語教室 月 2 回）など。実務を通じた現状認識および関係者との議論の中から、自ら課題を見つけ、調査およびヒアリングを設定し、解決策の提案までを研修実施団体のスタッフがサポートする。</p> 3. 見学・会議・イベント <p>研修員の参画するプロジェクトに応じて見学およびイベントを随時計画。 関連団体や、兵庫県や神戸市等行政の実施する会議へ参加。地域の国際理解教育への協力。</p> 4. 面談 <p>定期的に面談を実施（月 1 回および必要に応じて）</p> 5. 発表 <p>たかとりコミュニティセンター関連団体にて、研修報告と意見交換</p>

	を実施。
<p>本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果</p>	<p>研修員は、在日日系人をサポートしてきた現場で、歴史的背景から先進的取り組みまでを幅広く学ぶことができるが、その中でも特に研修員および現地日系社会への裨益効果が高いものは下記3点である。</p> <p>① 防災減災への取り組み ② ラジオ、冊子、SNS など多様なツールによる情報発信 ③ 在日日系人など外国にルーツを持つ子どもの教育</p> <p>研修員はこれら活動の過程で課題解決のためさまざまな関係者と議論し、市民団体と行政との連携のあり方を学ぶ。研修員自身の学びにとどまらず、研修員と関わった日本人関係者にも気づきと学びをもたらすこと（Knowledge Co-Creation）が期待できる。それは日本社会の多文化共生、国際協力意識の醸成にも寄与し、より民主的で成熟した社会へとつながる。</p> <p>また、特に「防災減災」や「行政、市民団体、地域住民のネットワーク」については、中南米の国々においてまだ取り組みが進んでいない部分であり、研修員は新しい知見を得るとともに、帰国後に現地日系社会における課題を発見し、行政、企業、大学、地域住民などのステークホルダーとのネットワーク構築を実現することができる。</p>
備考	<p>●上記技術研修終了日について補足。もし来日が遅れる場合は、終了日はその日から9カ月後で希望します</p> <p>●上記日本語能力について補足。2名受け入れの場合、1名は日常会話レベル、もう1名は報告書作成レベルの読み書き能力があれば望ましい。</p>